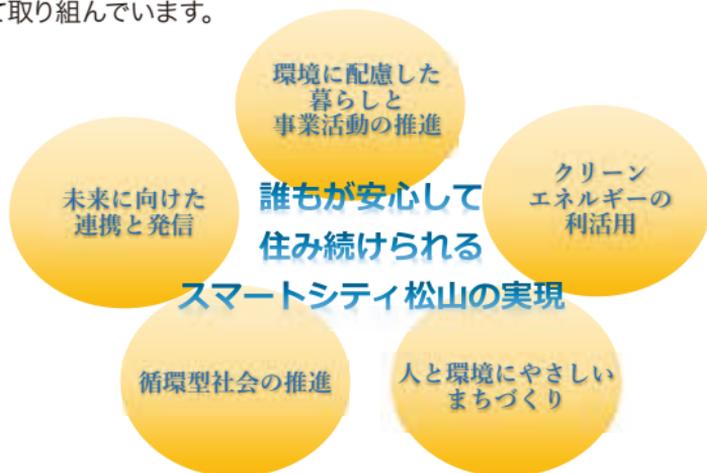


環境モデル都市まつやま

本市は平成25年3月に「環境モデル都市」に選定され、「松山市環境モデル都市行動計画」に5つの柱を掲げ、脱炭素社会の実現を目指して取り組んでいます。



持続可能な脱炭素社会の構築

松山方式による塩類リサイクルの取り組み(エコ次亜事業)

本市の一般廃棄物最終処分場から生じる塩類からエコ次亜と呼ばれる消毒剤を生成し、下水処理場で使用する日本初の取り組みを本格運用させました。これにより、塩類のリサイクルやCO₂排出量の削減が可能となり、循環型社会の形成に寄与しています。これら一連の塩類リサイクルシステムは、令和元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。



横谷埋立センターエコ次亜生成施設

選挙コンシェルジュの認定

若年層の投票率向上を目指し、平成25年7月の参院選に全国初となる大学内への期日前投票所の設置をきっかけとして、平成26年2月から学生を選挙啓発のセミプロ「選挙コンシェルジュ」として認定し、協働しています。選挙コンシェルジュは高校生、専門学生、大学生で構成されており、選挙啓発はもちろん、主権者教育などを行っています。また、平成27年3月からは、啓発の支援団体を「選挙クルー」として認定し、NPO法人や学生サークルなど各団体の特性をいかした支援を受け、選挙コンシェルジュから生まれてくるさまざまな企画を実施しています。松山市の取り組みは、平成26年の第9回マニフェスト大賞「ネット選挙・コミュニケーション戦略賞」部門で優秀賞および審査員特別賞、平成27年の全国広報コンクール広報企画部門で読売新聞社賞、平成28年の第24回参院選に係る総務大臣表彰などで評価されています。

活動内容

- 親子投票啓発ポスターなどの作成
- 選挙啓発カレンダーなどの啓発物資の作成
- 大学内期日前投票所の設営
- 選挙啓発イベントの実施
- 主権者教育の実施
- 市選管FacebookなどのSNSによる活動内容の情報発信 など



選挙啓発カレンダー



親子投票啓発ポスターの撮影



主権者教育の実施